

平成 30 (2018) 年度
東京大学大学院工学系研究科
機械工学専攻
修士課程【日程 A】
博士後期課程【日程 A および日程 B】
入学試験案内

Guide to Entrance Examination to the 2018 academic year,
Department of Mechanical Engineering,
Graduate School of Engineering, the University of Tokyo

【本入試案内に関する問い合わせ先】

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院工学系研究科機械系事務室
電話 03-5841-6301
E-mail : kyoumu@office.mech.t.u-tokyo.ac.jp

この案内書は平成30（2018）年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項および同博士後期課程学生募集要項の説明を補うものであり、受験者は前記の募集要項とともにこの入試案内を必ず熟読のこと。

1. 入学時期

【日程A】

・修士課程出願者のうち、平成30年3月31日までに大学を卒業見込みの者については、平成30年4月の入学となる。出願時に既に大学を卒業している者、あるいは平成29年9月21日までに卒業見込みの者については、平成30年4月の入学に加えて平成29年9月の入学も可能である。

・博士後期課程の日程Aに出願した者のうち、平成30年3月31日までに大学院修士課程を修了見込みの者については、平成30年4月の入学となる。出願時に既に大学院修士課程を修了している者、あるいは平成29年9月21日までに修了見込みの者については、平成30年4月の入学に加えて、平成29年9月の入学も可能である。

【日程B】

・入学時期は平成30年4月のみである。なお、日程Bでの出願は、博士後期課程受験者のみ可能である。

2. 指導教員等

「教員一覧」に記載されている教員のうち、※印のある教員は修士課程および博士後期課程の指導教員として志望することはできない。また、◎印のある教員は、博士後期課程の指導教員として志望することはできない。本教員一覧は、平成29年4月現在のもので、今後変更になる可能性がある。

(1) 修士課程

修士課程に入学を希望する者は、入学試験の際に配布される志望調査票に必要事項を記入し、期限内に提出すること。指導教員の決定は、筆記試験の成績と受験者の希望を総合的に勘案して行うので必ずしも第一志望通りにはならない。志望調査票の記述をよく読んで志望する指導教員名を記入すること。

(2) 博士後期課程

博士後期課程に入学を希望する者は、願書提出の前に志望する指導教員をあらかじめ訪ね、合格した場合の指導の許可を得るとともに、希望する研究課題等について相談しておかなければならない。なお、指導教員の選択に関しては下記の大学院主任教授と相談することも可能である。

大学院主任：泉 聡志 教授 電話03-5841-6413

3. 修士課程【日程Aのみ】

(1) 入学試験について

(イ) 筆記試験

修士課程における筆記試験は、一般教育科目（数学）、外国語（英語 TOEFL-ITP※1）および下記に示した専門科目（機械工学）について行う。

| 専 門 科 目 | 分 野 |
|-----------|----------------------------------|
| 機械工学（第1部） | 主に、熱工学、流体工学の分野から出題 |
| 機械工学（第2部） | 主に、材料力学、機械力学・制御、機械設計・生産工学の分野から出題 |

(ロ) 口述試験

口述試験は8月31日（木）12：30に発表する筆記試験合格者に対してのみに実施する。希望する専門分野、研究課題、指導教員などについて試問する。口述試験は、当日集合場所で発表する呼び出し順序にしたがって行なうが、呼び出し時に不在の受験者は、口述試験について不合格となるので注意すること。

(2) 出願日程

平成30（2018）年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項のとおり。

※1) 大学院入学試験場で試験を行う。出願時に、TOEFL-iBT または TOEFL-PBT の公式スコアを提出できる者は、その公式スコアの提出をもって、外国語（英語）試験に替えることも可能である。TOEFL-iBT または TOEFL-PBT の公式スコアは、出願時までに ETS より工学系研究科に届いている必要があるので、注意すること。ただし、公式スコアを提出した場合は、英語（TOEFL-ITP）を受験することはできない。

4. 博士後期課程

(1) 第1次試験について

(イ) 筆記試験

博士後期課程第1次試験における筆記試験は、外国語（英語 TOEFL-ITP※2）および専門学術（数学および力学、各自の専門分野に関連する学術）について行う。ただし、本学工学系研究科の修士課程を修了した者、または修了見込みの者については、外国語と、数学および力学の試験を省略する。

(ロ) 口述試験

第1次試験における口述試験は、修士論文またはこれに代わる研究の経過状況、希望する研究課題についての構想、それらに関する機械工学上の知識について試問を行う。

※2) 【日程A】については、大学院入学試験場で試験を行う。出願時に、TOEFL-iBT または TOEFL-PBT の公式スコアを提出できる者は、その公式スコアの提出をもって、外国語（英語）試験に替えることも可能である。ただし、公式スコアを提出した場合は、英語（TOEFL-ITP）を受験することはできない。また、【日程B】については、大学院入学試験場における外国語（英語）試験は行わず、代わりに、出願時に TOEFL-iBT または TOEFL-PBT の公式スコアの提出を求める。【日程A】、【日程B】のいずれにおいても TOEFL-iBT または TOEFL-PBT の公式スコアが、出願時までに ETS より工学系研究科に届いている必要があるので注意すること。

(2) 第2次試験について

第2次試験は、完成した修士論文またはこれに代わる研究についてのプレゼンテーションおよび質疑応答を、第1次試験の合格者に対してのみ行う。期日は原則として2月上旬であるが詳細は追って通知する。

(3) 出願日程について

平成30(2018)年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項のとおり。

5. その他

入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本専攻の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。